

きょうたなべ

のうぎょう委員会だより

3

農業委員会
ホームページ



No.78

平成30年3月15日発行
広報アイデア委員会

月号 2018

最新設備のハウスを新設

昨年9月、飯岡地区に最新設備のトマトハウスが新設された。杉田さんは、父親から受け継いだトマト栽培の知識と経験を活かし、営農拡大へ踏み切った。

視察先で最新のトマトづくりを知った杉田さん。経済的負担を覚悟で、約6,000株(90トン)を栽培できるオートメーションハウスを建てた。「今後も営農拡大を目指します。市内の直売所などへ卸していますので、買って下さい」と語った。

大きくみずみずしい「杉田トマト」。皆さんも、手に取ってみてはいかがでしょうか。

杉田 充さん(35)
26歳で農業経営の世界に足を踏み入れた、若手の専業農家。市内でも希少なトマトをハウス栽培。



杉田農園
ホームページ



杉田農園の詳細は、
中面のQ&Aをご覧ください

京田辺市産業祭

さんぎょうさい

レモンと米粉をPR!



澤田 康夫 委員

11月19日、農業委員会は、「儲かる農業」を推進するため、今年も京田辺市産業祭にブースを設け、新たな農業委員・農地利用最適化推進委員の計25名で参加しました。

当日は、おかげさまで、11時頃までには完売。そのほか用意した米粉パンなどの加工品も午前中で売り切れしました。また、餅つきの実演では、子どもさん・学生さん・高齢者の方から「もちつきやってみたい」「なつかしい」といったうれしい一言ももらいました。



実験ほ場でとれたレモンもブースに並びました。

前日の早朝から、林会長を筆頭に委員全員が山本区の農業構造改善センターに集まり、お餅の準備やレモンプロジェクトで収穫したレモンを絞り、加工品を仕上げました。

「これから、農業委員会の委員一同、市の産業・農業へ貢献できるように協力していきたいと思えます。ぜひ来年の産業祭も農業委員会ブースに足を運んで下さい。皆さんの力強い一言が私たちの原動力になります。」



農業委員会活動報告 01

視察研修

果実王国和歌山で6次産業化を学ぶ

レモンプロジェクトの6次産業化（栽培から加工までを一貫して行う）を見据え、その分野の先進地である和歌山県へ視察研修に伺いました。



喜多 義治 会長職務代理者

秋津野ガルテン

「秋津野ガルテン」は、廃校になった小学校を利用し、地元特産品の農家レストランや宿泊施設を運営されています。

地域の様々な組織が協力し、都市部と農村部の交流をはかりながら、地産地消・地域社会の活性化を実践されていきました。

また、かんきつ類の果汁

を搾る施設もあり、果実の6次産業化がどういふものかを強く意識する場となりました。

特産品の売り方をチェック



新岡農園

「新岡農園」では、柿・梅・ジャバラなど合計2000本もの果樹を傾斜



地で栽培されていました。こちらにも、果実の加工まで自社で行う6次産業。耕作放棄地への植栽や、まちの特産品づくりへの貢献で農林水産省から表彰される会社で、規模も大きく見渡す限り果樹が広がっていました。本市も多くの農家に柑橘類を定植してもらい、果樹が並び風景や特産品が増えてほしいと感じました。

農地パトロール

地元の農地を守るために

農地・農政委員会で現地の状況を確認

農地利用状況調査で
荒れた農地の総点検



リストアップされた対象農地を確認。地元委員も説明に参加して、指導の有無を判断します。

農地パトロール
農業委員会
実施中

農業委員・農地利用最適化推進委員の軽トラックは、パトロールのステッカーをつけて巡回し、農地の荒廃を未然に防ぎます。

農業委員会には、内部で「農地・農政委員会」と「広報アイデア委員会」という役割を設けています。

農地パトロールは、農地・農政委員会のメンバーが、毎年1回行う市内全域が対象の農地利用状況調査で、特に確認が必要な農地をチェックするものです。

指導の必要があると判断された所有者などには、地域

の農業委員・農地利用最適化推進委員から指導したり、指導文書を通知したりして、農地の管理を促します。

農地の適正管理は、所有者(耕作者)の義務です。何もしないと雑草が伸び、病虫害の発生で周辺に迷惑をかけることとなりますので、未然に防げるように所有者などへ声かけに努めていきます。

みなさまからの情報提供が地域の農地を守ります。ご協力をよろしくお願ひします。



藤田 喜一 委員

農地の貸し借り状況報告

京田辺市にある賃貸借権のお知らせをします。

95%は無償の契約です。



昨年は、989筆ありました。全体の内、約95%が使用貸借(無償)の契約です。
※農地法第52条の規定に基づいた、農地法および農業経営基盤強化法による貸借の情報提供

なお、賃借料は農業委員会などが定めるものではなく、貸し手と借り手の話し合いで決めます。

農地の貸し借りのご相談は、農業委員・農地利用最適化推進委員または事務局まで問い合わせてください。



未来の特産品を考える 意見交換会

平成29年12月18日

市で毎年行っている意見交換会。今回は、「果樹生産と6次産業」をテーマに、市内の旧村5地域が、それぞれの環境に合う果樹や栽培方法を議論しました。



市内全域の農家が集まり、これからの地域農業の在り方を議論しました。

本市は、都市近郊農業あり、中山間地農業ありと、各地区で営農方法が大きく異なります。そのため「何を植えたらいいいのか」という一題だけでも、レモン、柿、オリーブ、ゆず、いちじくなど様々な案が出ました。また、売り方に付加価値をつけるなどのアイデア提案も盛り上がりました。

「とにかくやろう、進めよ

う」ということで、レモンプロジェクトでは早速ハートの型枠を用意し、レモンの実にはめこみました。今後、各地区で定期的にこういった場で前向きな意見交換ができる体制を作りたいと思います。



松本 好次 委員



多々羅地区



多々羅



多々羅地区
農地利用最適化推進委員
大谷 雅洋 委員

同志社大学と共にある緑豊かな集落

多々羅地区は、京田辺市南部にある「普賢寺地域」を構成する6つの旧村（多々羅・普賢寺・水取・天王・打田・高船）のひとつで、同志社大学京田辺校地と、大学の南側で住宅開発が進む「同志社山手地区」に挟まれた位置にあります。

地区内のシンボルである同志社大学の多々羅キャンパス（旧ウエルサンピア京都）では、国際交流事業で留学している外国人や大学のスポーツ部員がランニングする姿をよく見かけます。

この地区は自然災害の影響を受けにくい恵まれた土地柄ですが、在所は兼業農家がほとんどで、地域農業の高齢化・担い手問題が懸念されていました。しかし、

昨年3月ののうぎよう委員会だよりで紹介した、「いちご」を主力とする若手の新規就農者が多々羅地区に来てくれました。専業農家として精力的に営農する姿には勇気づけられます。どんどんまちづくりが進む京田辺市ですが、これから先の時代でも柔軟に対応できる新しい地域農業のあり方を考えていきたいと思っています。



多々羅キャンパスのスポーツ施設は、テニスやゴルフの練習場があります。



『きょうたなべのうぎよう委員会だより』

農業委員会広報コンクール
全国大会 最優秀賞受賞!
京都府大会 2年連続金賞受賞!



広報アイデア委員会では、よりよい広報を提供するため、コンクールの受賞を目標にがんばってきました。

今年度、念願の全国・府ダブル1位受賞を達成しました。全国は初の、京都府

では2年連続の受賞です。これもひとえに、取材を受けて下さる方々やアンケートを下さる皆様のご協力があったからこそと感じます。これからもわかりやすく見やすい紙面作りを心掛けます。

プレゼントクイズ

春の味覚をお届け

今号のクイズ

今年広報アイデア委員会が受賞した賞は？

広報コンクール
全国最優秀賞受賞・
京都府〇賞受賞

答え

京田辺の竹林でとれた 3名様 たけのこ3kg



クイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・のうぎよう委員会だよりへのご意見・ご感想を書いて、メール・郵送・持参で応募してください。クイズの正解は、次号で発表します。

応募期限=平成30年4月15日(日)まで(当日消印有効)
当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

郵送先=農業委員会事務局(〒610-0393(住所不要)、

メール: nougyo@city.kyotanabe.lg.jp)

件名は「農業委員会クイズ」と記入。



前回の正解は 隼(はやとまい)米



メールアドレスが読み取れます。↑



Q&A No.3

本紙プレゼントクイズでよせられた感想の中で、質問のあった内容にお答えします。

Q1

QRコードがあれば、くわしい情報やプレゼントクイズの応募がしやすくなるのでは？



A1

今回からQRコードを採用しました。

QRコードは、スマートフォンなどの読み取りアプリを起動し、カメラをかざすだけでホームページが表示され、より多くの情報が得られます。

ぜひ活用して下さい。



アプリはダウンロードが必要です

Q2

のうぎょう委員会だよりで紹介された農作物を食べてみたいです。どこで売っていますか？



A2

今号で紹介した「杉田農園」

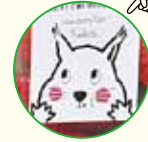
三山木地区の「にこにこ市」、普賢寺地区の「普賢寺ふれあいの駅」で販売中。杉田農園のラベルが目印です。



No.75号で紹介したいちご園「キートス」



三山木地区の「にこにこ市」、普賢寺地区の「普賢寺ふれあいの駅」で販売中。かわいいリスの Mascot キャラクターが目印です。



No.77号で紹介した京田辺ブランド一休品認定「京都大住産 隼人米」



■岡村アグリ倶楽部

090-2199-1303 (担当: 芝) へ注文
数量・エリア等により配達可能
2kg: 1,000円 5kg: 2,500円

駅ナカ案内所でも販売
(近鉄新田辺駅内)



隼人米は、地域の特性を活かしたおいしい米作りを目標に、カルシウムを豊富に与えて健康な作物を育てる「カルテック栽培」導入した画期的なヒノヒカリです。京田辺ブランド「一休品」にも選ばれ、ブランド米として評判となりつつあります。

全国農業新聞は、農業の最新情報を提供、農業全般の情報や地域の明るい話題なども紹介し、ご家族や非農家も楽しめます。

■毎週金曜日発行 ■B3版8ページ
■月額700円(送料、消費税込) ■購読のお申し込みは、農業委員会事務局へ ■発行所: 全国農業会議所

家族・非農家も 楽しめる新聞。



全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

豊かな老後生活のために 加入しませんか 農業者年金

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

1. 農業者なら広く加入できる
 2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
 3. 保険料の国庫補助
 4. 保険料は2万円から自由に選択可能
 5. 税制面で大きな優遇
 6. 80歳までの保証がついた終身年金
- くわしくは農業委員会事務局まで





レモンプロジェクト 活動報告

苗木の剪定を学びました

農業委員会では、耕作放棄地の解消・未来の特産物の創出のため、レモンを育てるレモンプロジェクトを行っています。

3月8日、大きく生長した苗木の正しい剪定を行うため、京都府山城北農業改良普及センターから講師を招いて実地研修を行いました。



委員と一般農家の計20名が教わりました。

広がるようにする。また、木の中心にある葉にも光が当たるように切る枝を選ぶ」と教わり、伸びすぎた必要の無い枝を選び、約50本を剪定しました。

現在、6次産業化(栽培から加工・販売までを一貫して行うこと)の試みのひとつとして3ページ目で紹介している意見交換会で出たアイデア、「ハート型のレモン」ができるかどうか、型をかぶせて実験しています。みんなさんも、よいアイデアがあれば地域農業委員・農地利用最適化推進委員までご提案下さい。

ハート型の試作品を3Dプリンタで制作



第10回 使おう! 食べよう! 米粉レシピ

甘くてさわやか! レモンまんじゅう



地元でとれたレモンと特産品のえびいもを使った贅沢な一品です。普賢寺地区のふれあいの駅でも、販売していますよ。(山下明子委員)

材料 (12個分)

♪レモンのはちみつ漬け	☆まんじゅうの皮
レモン 1個	えびいも 45g
はちみつ 大さじ2	水 5cc
☆あん	砂糖 130g
白あん 450g	米粉(上用粉) 35g
♪レモンのはちみつ漬け 40g	薄力粉 35g
	レモンの皮 9g

作り方

- ♪を作る
- 2日前にレモンを輪切りにしてはちみつに漬ける。
- 漬けたレモンをみじん切りにして少し煮詰めて冷やす。
- ☆を作る
- えびいもの皮をむき、すり下ろす。
- ③と同じ分量の水を加えて混ぜる。
- 砂糖を5回に分けて③と混ぜる。

- 米粉と薄力粉を④へふるい入れ、へらで芋を中心に寄せる。粉の上に芋が浮いてきたらすり鉢を揺する。手で芋を揺すりながら粉を絡ませていく。
- みじん切りにした♪を白あんに混ぜ、12等分にする。
- あんを皮で包み、蒸し器で13分間蒸す。

📌 えびいもは、大和芋でもOK!
④の水は、芋だけで
柔らかければ入れなくてもOK!

